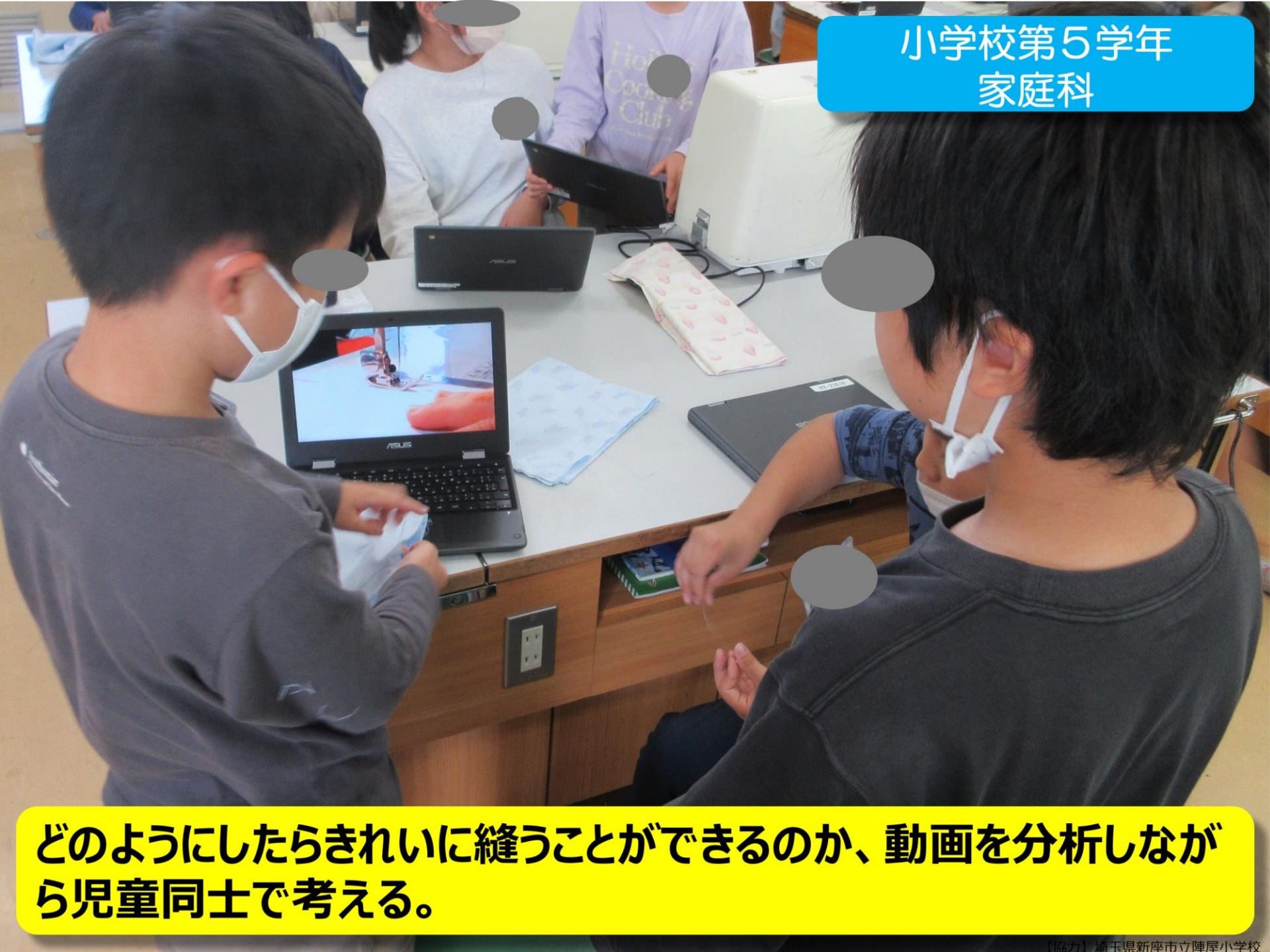

【協力】埼玉県新座市立陣屋小学校

小学校第５学年
家庭科

自分のミシン縫いについての改善点をペアに伝える。ペアは改善点が分かるように工夫しながら動画を撮影する。

【協力】埼玉県新座市立陣屋小学校

小学校第5学年　家庭科　「ミシンでソーイング」

■題材の目標

生活を豊かにするための布を用いた製作についての課題を解決するために、**身に付けたミシン縫いの知識及び技能を活用し**、製作計画や製作方法を考え、工夫することができる。

■題材の概要

初めてミシン縫いに挑戦する児童が、ミシン縫いの特徴を理解し、直線縫い、縫い始めや縫い終わりの返し縫い、角の縫い方など、ミシン縫いをするために必要な基本的な技能を活用しながら、ランチョンマットの製作に取り組む。

■題材の指導計画（12時間）

第１時
- ミシン縫いの特徴を知る。
- ランチョンマットの製作における問題を見いだして課題を設定する。

第２～４時
- ミシンの安全な取扱いについて理解する。
- 練習布を用いて基本的な縫い方を習得する。

第５～７時
- 製作に用いる布にしるしをつけ、縫い目が隠れる布の裏側を縫う。

第８・９時
- 布の裏側の縫い目について、できばえを自己評価する。
- どのようにしたらきれいに縫うことができるのかを考える。
- 布の表側を縫うための改善点と改善方法を明らかにし、練習布を用いて練習する。

第10・11時
- 布の表側を縫い、作品を完成させる。

第12時
- 布の表側の縫い目を自己評価する。
- 題材を振り返り、学習をまとめる。

■題材の概要

布の裏側を縫う際、ペアの児童同士でミシン縫いに取り組む様子の動画を撮影し合う。

布の裏側の縫い目について、できばえを自己評価する際は、ペアに撮影してもらった動画を見返し、なぜそのようになったのか、個人で理由を考える。
どのようにしたらきれいに縫うことができるのか、動画を分析しながら児童同士で考え、その結果を全体で共有する。
自分のミシン縫いを改善するために、どのように縫えばよいか、個人で考え、練習布を用いて練習する。

自分の改善点をペアの児童に伝えてから表側を縫う。ペアの児童は、表側の縫い目についての自己評価ができるよう、伝えられた改善点が分かるよう工夫しながら動画を撮影する。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第８・９時）

【学習活動の場面】

ミシン縫いできれいなランチョンマットを仕上げるためには、直線縫い、縫い始めや縫い終わりの返し縫いや角の縫い方が大切だと気付いた児童が、自分の縫い目を見て自己評価を行った後、自分の姿を撮影した動画を見返しながら、「なぜまっすぐ縫えないのか」等の理由を考える。どのようにしたらきれいに縫えるかについて、動画を活用しながら考え、全体で共有することを通して、自分のミシン縫いについて「おさえに注目する」等の改善方法を明確にし、次時に向けて練習をする。

【子供の「深い学び」の姿】

Ａは、自分の姿の動画を基に、自分の取り組みを振り返り、どうしたらきれいに縫えるのか、他の児童と考えた。

Ａ「針を見て縫っているのに、どうしてもまっすぐ縫えない。どうしてＢさんはまっすぐに縫えるの？」

Ｂ「うーん…（自分の動画をスロー再生しながら考える。おさえが映し出された場面で一時停止する）そうだ。私はここ！（ズーム機能を用いて指し示す）この（おさえの）すき間を見ているから、まっすぐ縫えるのかもしれない。」

Ａ「そうか！そこ（おさえのすき間）を見ればいいのか！」

児童の考えを全体で共有した後、Ａは練習布で直線縫いを行い、本時を振り返った。

Ａ「Ｂさんが気付いたおさえのすき間を見て縫うというやり方を試したら、まっすぐに縫うことができてうれしかったです。次はいよいよ表側を縫うので、そのときもおさえのすき間を見て縫えば、まっすぐに縫えそうです。」

【当該指導での「深い学び」】

Ａは、縫い目を自己評価する際、改善点を見いだすための動画を通して、自分の姿をより客観的に振り返ることができた。また、より理想に近い縫い方を実現するための方策について児童同士で話し合うことで、個人の改善方法を明確にすることができた。さらに、Ｂは、自分が感覚的につかんでいたミシン縫いのコツについて、Ａと協働しながら考えることで、改めて明確にすることができた。

■指導上の工夫とICTの利活用

①**ペアで互いのミシン縫いの様子を撮影し合い、自分の姿を振り返ることができるようにした。**

＊自分がミシンを操作している様子を撮影しておくことで、作品の縫い目からの評価だけでなく、なぜそのように縫うことができたのかについて、振り返ることができるようにしている。

②児童同士で話し合う際は、**動画の再生速度の変更やズーム機能を活用することで、詳細の把握・分析に役立てた。**

＊端末の様々な機能を活用できるようにすることで、自分がとらえているミシン縫いのコツを他の児童に伝えたり、感覚的にとらえていたコツを明確にできるようにしている。

【活用したソフトや機能】
動画撮影機能

学習指導要領との関連

小学校学習指導要領　第２章　第８節　家庭

第２　各学年の内容
〔第５学年及び第６学年〕
１　内　容
Ｂ　衣食住の生活
⑸　生活を豊かにするための布を用いた製作
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
(ｲ)　手縫いや**ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し，適切にできる**こと。
イ　**生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え，製作を工夫すること。**

出典：小学校学習指導要領P138